

花巻市の家計簿をお知らせします



市民の皆さんに必要な、さまざまな事業を行っています(写真は「赤ちゃんとのおもちゃあそび体験教室」の様子)

平成21年度の決算が花巻市議会9月定例会で認定されました。皆さんが、毎月の家計を目的ごとに分けて管理しているように、市でも、年間の予算を使い道に応じて「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つの財布に分け、管理しています。皆さんの大切な税金などを基に運営されている市政。ここでは、昨年度、この3つの財布にどのくらいのお金が入り、どのような目的に使われたのか、その中身をお知らせします。



一般会計

福祉や教育、道路の整備など、わたしたちの生活に密着したさまざまな事業を行う市政運営の基本となる会計です。

平成21年度は歳入・歳出ともに増加

平成21年度に一般会計に入ったお金(歳入)は481億92万円。この中から使ったお金(歳出)は469億3736万円で、差し引き額は11億6356万円になりました。歳入を前年度と比較すると、自主財源の代表的なものである「市税」は、市民税の税収が落ち込んだことなどにより3億7970万円(3.4%)減少しました。また国庫支出金は、定額給付金給付事業などにより36億6428万円(89%)増加。歳入全体では、23億1688万円(5.1%)増加しました。

平成21年度の主な事業

民生費

- ◆障がい者自立支援給付事業に10億3384万円
- ◆生きがい活動支援通所事業に2886万円
- ◆生活保護事業に11億6153万円

総務費

- ◆小さな市役所推進事業に2億円
- ◆市営バス事業に5289万円

土木費

- ◆共同受信施設地上デジタル放送対応支援事業に932万円
- ◆道路の新設・改良に14億3193万円
- ◆橋梁の新設・改良に4億6192万円

教育費

- ◆東和小学校整備事業に8億7657万円
- ◆石鳥谷中学校校舎改築事業に9億2226万円
- ◆振興センター生涯学習事業に656万円



衛生費

- ◆健康診断事業に1億5545万円
- ◆予防接種事業に1億2374万円
- ◆清掃センターでのごみ処理経費に4億4229万円



農林水産業費

- ◆いわて希望農業確立緊急総合支援事業に2276万円
- ◆中山間地域等直接支払交付事業に4億9553万円
- ◆森林病虫害等防除事業に7546万円

商工費

- ◆早池峰神楽ユネスコ世界無形文化遺産登録推進事業に2200万円
- ◆企業誘致推進事業に7580万円



消防費

- ◆消防団装備施設整備事業に2億307万円
- ◆消防団活性化事業に524万円
- ◆位置情報表示システム導入事業に1817万円

自主財源の柱「市税」の内訳は？

区 分	税 額	前年度との比較
市民税(個人・法人)	41億2,744万円	△3億3,372万円
固定資産税	57億5,843万円	△2,195万円
軽自動車税	2億2,552万円	578万円
たばこ税	5億5,928万円	△4,226万円
特別土地保有税	941万円	941万円
入湯税	1億2,328万円	304万円
合 計	108億 336万円	△3億7,970万円

【市民の市税負担額】

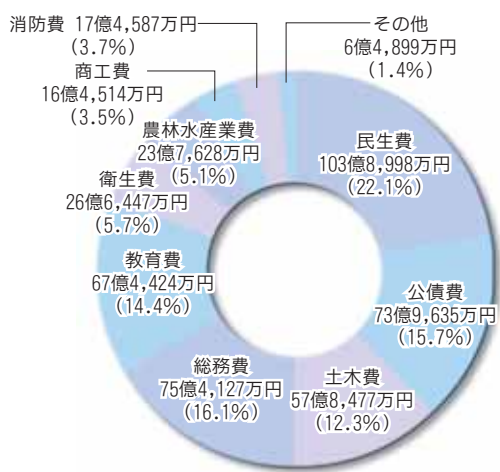
- 1人当たり → 10万4,632円
- 1世帯当たり → 30万2,217円

※平成22年3月末で計算(人口:103,251人、世帯数:35,747世帯)

一方、歳出の中で最も支出が多かったのは、福祉施策や医療費給付、生活保護などの民生費で、前年度と比較すると5億8266万円(5.9%)増加しました。また東和小学校校舎の新築などにより教育費が18億1821万円(36.9%)、総務費は定額給付金などにより10億7056万円(16.5%)増加。歳出全体では、19億7339万円(4.4%)増加しました。

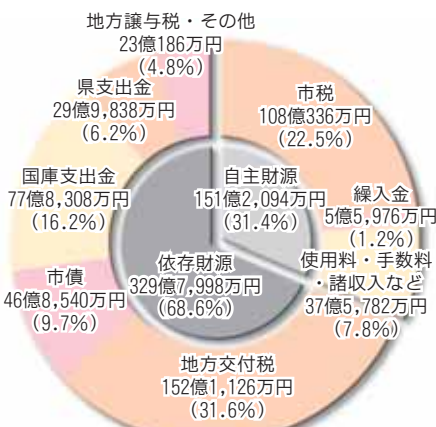
※文中の用語の解説は、各円グラフの中に記載しています

歳出 469億3,736万円



- 民生費** 高齢者・障がい者・生活保護者などへの給付や保育園の運営などの経費
- 公債費** 市債の元利償還などの経費
- 土木費** 道路や公園整備などの経費
- 総務費** 一般事務や財産管理、積立金などの経費
- 教育費** 小・中学校の整備や学校教育、社会教育などの経費
- 衛生費** 各種予防検診やごみ処理などの経費

歳入 481億 92万円



- 自主財源と依存財源** 市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。一方、地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源が「依存財源」
- 地方交付税** 市の財政力に応じて、国から交付されるお金
- 市債** 事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金
- 国庫支出金・県支出金** 事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金

「財政健全化判断比率」「資金不足比率」を公表します

財政健全化判断比率および資金不足比率は、国が示した判断基準により、市の財政が「健全団体」「早期健全化団体(要注意状態)」「財政再生団体(破たん状態)」のいずれの状態にあるのか、また、各会計の経営状態はどうかを判断することができます。なお、指標のうち1つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化を図ることになります。

本市では、基準値を超える項目はありませんでしたが、引き続き財政の健全化に努めます。

【財政健全化判断比率】 (平成21年度)			
	花巻市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— パーセント	11.87 パーセント	20 パーセント
連結実質赤字比率	— パーセント	16.87 パーセント	40 パーセント
実質公債費比率	19.2 パーセント	25 パーセント	35 パーセント
将来負担比率	151.0 パーセント	350 パーセント	

【資金不足比率】 (平成21年度)		
会計名	花巻市	経営健全化基準
簡易水道事業	— パーセント	20 パーセント
石鳥谷東央部営農飲雑用水施設事業	— パーセント	20 パーセント
公設地方卸売市場事業	— パーセント	20 パーセント
下水道事業	— パーセント	20 パーセント
農業集落排水等汚水処理事業	— パーセント	20 パーセント
上水道事業	— パーセント	20 パーセント

注1)表中、各基準は国が示した数値です

注2)赤字額、資金不足がない場合は「— パーセント」で表しています

— 用語解説 —

- 実質赤字比率**
普通会計(一般会計など)の赤字比率
- 連結実質赤字比率**
市のすべての会計(普通会計・特別会計・企業会計)を含めた赤字比率
- 実質公債費比率**
市のすべての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費による財政負担を見るための比率
- 将来負担比率**
市のすべての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計も含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債(借入金残高など)を見るための比率
- 資金不足比率**
特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率

【平成21年度 特別会計決算の総括表】

区 分	歳 入	歳 出	差引(残)額
国民健康保険	98億3,139万円	94億2,791万円	4億 348万円
老人保健	2,723万円	1,749万円	974万円
後期高齢者医療	16億3,486万円	16億3,109万円	377万円
介護保険	77億3,644万円	77億2,686万円	958万円
簡易水道事業	3億7,676万円	3億4,909万円	2,767万円
石鳥谷東央部営農飲雑用水施設事業	6,973万円	2,214万円	4,759万円
老人保健施設事業	3億4,540万円	3億1,407万円	3,133万円
公設地方卸売市場事業	5,596万円	5,435万円	161万円
下水道事業	52億5,586万円	51億8,871万円	6,715万円
農業集落排水等汚水処理事業	25億 521万円	24億3,769万円	6,752万円
合 計	278億3,884万円	271億6,940万円	6億6,944万円

花巻市には10の特別会計があり、その合計は歳入が278億3884万円、歳出が271億6940万円となりました。このうち、国民健康保険特別会

財布②

特別会計

国民健康保険税や下水道使用料など、特定の歳入で特定の事業を行うための会計。一般会計と区別して経理しています。

計は、加入者が納める国保税や国・県からの交付金、一般会計からの繰入金を財源として、医療給付や各種保険事業を実施しました。平成21年度の被保険者は2万7196人で、平成20年度と比較して96人(0.4%)増加しました。また、老人保健特別会計は、平成20年4月に後期高齢者医療制度が創設されたことに伴い、旧老人保健法に係る医療費の負担や交付金・補助金などの清算のみが行われました。



企業会計

水道事業所

上水道事業は、独立した会計を持ち、経営に必要な経費を自らの収入で賄う「独立採算制」。会計は、次の2つに分かれています。

■収益的収支

水道使用料を主な財源として、施設の維持管理や借入金の利息の支払いなどに使われます。

■資本的収支

企業債(施設整備に伴う借入金)などを主な財源として、施設の整備や更新などに使われます。

限られた財源 使いだを厳しく選択

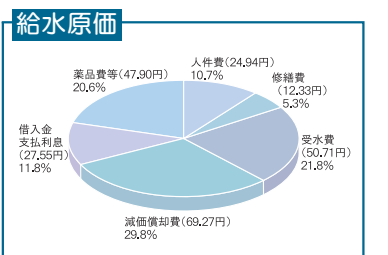
市では、厳しい経済情勢により税収が落ち込む中、財源の安定的な確保に努めてきました。また、健全財政を維持するために、事業の優先順位の厳しい選択と見直しを行いました。

皆さんが納めた税金や、地方交付税などの大切なお金。その使い道として、市では、まちづくりの基

区 分	収 支	決 算 額	内 容
収益的収支	収 入	20億8,237万円	水道使用料など
	支 出	19億7,424万円	維持管理費など
資本的収支	収 入	8億9,314万円	企業債など
	支 出	15億 655万円	工事費など

◆供給単価と給水原価

供給単価(1立方メートル当たりの料金収入)は217円92銭、給水原価(1立方メートル当たりの費用)は232円70銭でした。



本的な姿勢である「強くて優しいまちづくり」「市民参画・協働のまちづくり」を進めるため、花巻市総合計画に掲げる6つの政策に重点を置きながら、各種事業を展開しました。

市では皆さんのニーズに応えるため、これまで以上に事業の優先度・緊急度を見極め、引き続き財政の健全化と効率的な運用に努めていきます。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。